

青々としたコースター・バミューダグラ
やフェスキュー等の牧草地や休閑地で百
余頭の食肉用牛ホワイト・フェイスを飼
育している農業経営で年収一千万以上
とついでいました。

すばらしい酪農経営

第二の農家は乳牛を主体とした経営
で、ホルスタイン系乳牛百二十五頭、内
搾乳牛百頭、外仔牛数十頭で、等間隔に
植えてあるペカン樹の下の青々とした牧
野に明るい太陽を浴びて悠々と草を食べ
たり、寝そべっている景色は一才内地で
見られぬ風景でした。こゝでは一日の搾
乳量が約一、四キロリットルで三、六キ
ロリットル入の大きいステンレス製のタ
ンクを備えて、温度は四度Cに冷却
され、単位時間毎の自動攪拌装置を備え
ていて、二日に一度集乳トラックが集荷
にくるそうです。こゝでは他の濃厚飼料
も用いていましたが、一寸変わったもの
として一日三百六十キロのオレンジのし
ぼりカスを用いていました。

美しかった南部の風光

私たちは首都ワシントンに最初一〇日
間、次に南部のジョージヤ州に三週間、
フロリダ州に一週間、北上してノース・
カロライナ州に一週間、更にワシントン
に帰つて一週間過ごし、大陸をジェット
機で横断して、サンフランシスコ市の対
岸にあるパークレス市に一週間、カリフ
オルニア州に南下してロスアンゼルス市

に四泊、帰途ホノルルに一泊しました。

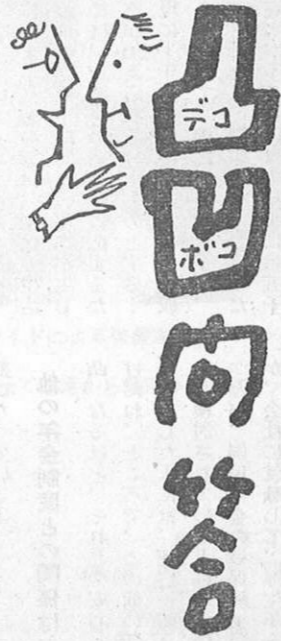
各地とも建物、道路が立派であること
は映画でご覧のとおりです。どこも敷地
に塀はなく前庭は手入れの行き届いた芝
生が青々と深く、花木や草花が色とりど
りに咲き乱れている景色はまるで公園の
ようです。特にジョージヤ州では真白い
ドッグ・ウードの花盛りでしたし、つゝ
しも丁度満開期で改良された大輪の花が
咲き誇っていました。又フロリダ州では
は、熱帯樹や原色の強い種々の花木、パ
クレイ市やサンフランシスコ市では、し
やくなげの満開期でピンクや紅色の大輪
の花が各家庭はうに及ばず大学構内に
もなごやかな雰囲気添えており、芝生
はよく手入れされて、スプリングラーに
よる撒水も常時行なわれていました。生
活にゆとりがあるからだといつてしまえ
ばそれまでですが、ごみごみした熊本の
街ももう少し緑地帯や花で美化せねばな
らないと思います。最近花いっぱい運動
が展開されていることは非常に結構なこ
とだと思えます。ロスアンゼルス市でお
世話になつた家で朝食をとりながら窓越
しに何気なく眺めていましたら、大きい
タンクを装備したトラックが路面を電気
掃除器のようなもので、塵埃を吸い上げ
ながら通つて行きましたが、これは週に
一〜二回市でやつている路面清掃だそう
で、路面の清潔なのもつともだと思ひ
ました。

いつも深刻な黒人問題

米国に黒人が相当いることは常識的に
知つていましたが、実際行つて見ると想
像以上に多いのは驚きました。一九五
〇年の統計では一〇%といわれています
が、首都ワシントンや南部諸州では遙か
に大きい比率を占めています。特にジョ
ージヤ州は多いようで、南北戦争で有名
なアトランタやメーコンでは三割以上で
はないかと見受けられました。黒人の生
活は白人の生活程度が高いだけにそれと
比較して極めてみじめです。メーコン市
の黒人街にもわざわざ回つてみました
が、実にひどく舗装も無い凹凸道で排水
の施設もないじめじめした日本のスラム
街のようです。黒人の中にも相当の知識
人や有力者もいるようですが、これらの
人々は黒人に対する政府の適切な施策を
要求しているようです。例えば米国は後
進国援助の一環として東南アジアに大き
い財政援助を行っているが、そんな援助
資金があれば吾々の生活環境の改善をや
つて貰いたいといつておられるそうです。
いづれにせよ黒人問題は米国の深刻な問題
だらうと思ひます。

(熊本県農業試験場長)

(註) 田中場長は今年の春から主とし
てアメリカの農事研究視察のため
訪米されました。



国民年金あれこれ

(最終回)

六十五才支給は遅すぎる?

凸 先日こういう話を聞いたがね……
厚生年金では六十才から老令年金が支給
され、国家公務員共済組合の退職年金は
五十五才から支給されるというように、
被用者年金制度では、老令年金の支給開
始年令を五十五才ないし六十才としてい
るのに、国民年金だけは六十五才支給と
いうのはおかしい、というんだよ。
凹 もつとも疑問だが、被用者年金の
場合の五十五才とか六十才というのは、
単にその年令に達した、ということだけ
では、年金受給の資格はできて、現実
に年金をもらえらるというわけではないの
だよ。もう一つ、その人が退職をしたと
いう条件が満たされてはじめて年金の支
給が始まることになつてはいるね。だか

ら、たとえばある人が六十五才になつて
も、まだ現役を退かないというような場
合には、年金は支給されないわけだ。

凹 なるほど。そういう話を聞くと、被
用者年金制度には、労働力の更新を円滑
に進めるといふ労働管理的色彩があるよ
うだね。その点国民年金の場合はそうい
う配慮は必要ないというわけか。

凹 いや、そうはつきり割り切つてもら
つても困るが、現実の問題として、国民
年金の適用対象者は、農林漁業、商工業
などの自営業者が大部分だろう。そして
こういう人たちは、田畑、山林、工場、
店舗といった生産手段をもつていて、自
分の意に反する退職というようないこと
なく、六十五才位までは所得活動ができ
るからね。

外国の例をみても、英、米、西独、デ
ンマーク、ニュージーランドなど、いず
れも六十五才支給開始が原則になつてい
るし、スウェーデンの場合は六十七才だ。
また、六十五才の人があと何年生きられ
るかという平均余命は、男子十二年、女
子十四年だから、本制度の六十五才支給
開始というのは決しておそすぎる、とは
いえないね。

凹 一般的には君のいうとおりかも知れ
ないが、人によると、六十才にもなると
既に体力がおとろえて、働けないという
人もあるわけだから、そういう実態に即
応できるように、もう少し弾力的なきめ
方ではないものだろうか。

凹 六十五才開始が原則だが、特に希望
する人には六十才から減額年金を支給す
る途を開く、というようなことは考えら
れることだね。そういう点は、改善事項
として、今後十分検討されねばならない
ことだろうね。

月三千五百円ときめられた わけは?

凸 問題をかえようか。老令年金の給付
額だがね。最高額は四十年拠出した場合
の月三千五百円ということになつてい
るが、この額は少なすぎて、生活の実態に
合わないという議論があるね。

凹 拠出制の場合、年金額をきめる要素
は、
第一に、国民がいくらの保険料を負担
できるかということ。

第二に、国がいくらの財政負担をする
ことができるかということ。

第三に、最低生活を保障するのにいく
らかかるかということ。

――これらの三つの要素を考慮して
きめられるわけだ。この点について
は、社会保障制度審議会が、国民年金
制度に関する答申案を検討した際にも、
最も心を配つたところらしいが、
審議会は、第三の最低生活保障費の基
準を、農村地区における老人単身世帯
の生活扶助額「月およそ二千円」とい
う点に根拠を求めたわけだよ。

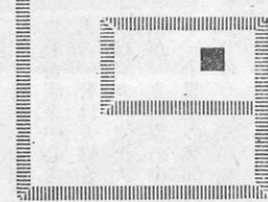
そうすると、三十年拠出、十年据置とい
う審議会案では、本格的な年金支給がは
じまるのは四十年後であるから、その間
の経済成長率を年率一・五%と推定して
計算すると、この二千円は四十年後には
三千五百円になる、ということだ。答申額
を三千五百円としたのだが、本制度の三
千五百円というのは、審議会の答申とは
異なる三千五百円なんだよ。一般にはこ
の点が混同されているようだね。

凹 ややこしい三千五百円だね。同じ三
千五百円でもながみがちがうというわけ
か。一体それはどういうちがいがなか
ね。

経済成長につれて将来は 増額される

凹 審議会の三千五百円というのは、四
十年先の三千五百円だが、本制度の三千
五百円は今日の三千五百円だよ。も少し

公給領収証完全交付受領運動(11.10-12.20)



公給領収証を

受けとりましょう